

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和3年11月8日

事業所名: フェローLabo

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない				
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			その日の利用人数によって、机の配置やレイアウトを考え、ゆとりをもって活動できるように配慮した。	22	6		2	少し狭いような気もします。	今後も、利用人数によって机の配置やレイアウトを考え、ゆとりをもって活動できるように配慮していく。	
	2 職員の適切な配置	○			基準に準じた人員配置は行っているが、子どもの人数によっては、もう少しスタッフがいても良いなど感じる。	20	2		8		利用人数によって、アルバイトの配置等随時行っていく。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		車椅子を利用している子が昇降しやすいように、置き型のスロープを使用している。	23				7		用途に応じて最適なレイアウトを心掛ける。(車椅子の利用児の座席の配慮等)
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎日朝夕と掃除を行い、清潔を保っている。	22	4			4		引き続き、毎日の清掃を実施していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			毎日の申し送りの中で、日々子ども達の支援に関する事をスタッフ間で話し合う時間を設けている。							引き続き、申し送りを継続していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	第三者による外部評価は行っていない。							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			内部で不定期に勉強会を実施したり、外部の研修に随時参加したりしている。							内部研修をより充実させていく。また、外部研修にも、積極的に参加していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			半年に1回のモニタリングは、保護者様に事業所に来所をお願いしている。(現在は、新型コロナウイルス感染防止の為、電話で対応している。)	27	3					直接お会いできる機会は少ないが、連絡帳やお電話にて、随時情報共有する事は引き続き意識していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			出来る限り、具体的な活動内容や関わり方を記載するように意識している。	28	2					職員間で、個々の発達課題に合わせた活動の立案や支援に関して随時話し合う機会を大事にしていく。また、個別支援計画に基づいた適切な支援を心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			集団活動(小集団での活動)に関しては、月2回のイベント活動や、レクリエーションの時間の中で取り入れている。							個々に合わせた課題・教材の提案、小集団で楽しめる活動も、今後はより充実させていきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供(続き)	4	○			支援計画に沿った活動を提供する事を日々意識している。子ども達のやりたい事も日々変化するので、定期的な見直しも大事にしていく。	27	1		2		引き続き、子どもの発達段階やニーズに応じた適切な支援を心掛ける。	
	5	○			毎日の申し送りの中で、日々の活動やイベント等の立案を行っている。						引き続き、スタッフの強みを活かしながら、子ども達が楽しみながら学べるプログラムを立案していく。	
	6	○			スタッフの得意分野を活かし、ICT以外の活動も取り入れている。(制作あそび、お料理イベント等) 個々に合わせた活動の提案と、そのための準備時間の確保を大事にしていく。	26	3		1		特に、平日に関してはマンネリ化しやすいので、月間プログラム等も活用しながら、新しい事にもチャレンジしていけるように工夫していく。	
	7	○			休日は、イベント活動や日中に公園活動を取り入れている。室内での活動は、マンネリ化しやすいので、子どもの興味・関心に沿った活動の提供を大事にしていく。						特に、長期休暇に関してはプチイベント等も随時取り入れていく事で、新しい事にチャレンジしたり、楽しんだりできる機会をも受けていく。	
	8	○			毎日の申し送りの中で、確認している。						引き続き、申し送りを継続していく。	
	9	○			毎日の申し送りの中で、行っている。						引き続き、申し送りを継続していく。	
	10	○			日々の子どもの記録は、Excelに記録、蓄積している。また、個別に子どもの行動観察記録(応用行動分析)も行っている。						出来る限りその日のうちに記録する事で、より正しく記録し、改善を重ねるように努める。	
	11	○			必要に応じて、半年を待たず個別支援計画の見直しを行っている。						半年を待たなくとも、適宜で個別支援計画の見直しは行っていく。	
	関係機関との連携	1	○			学校、関係機関からの要請に応じて、随時担当者会に参加している。						今後も、学校、関係機関からの要請に応じて、随時担当者会に参加する。
		2				該当者無し						
	関係機関との連携(続き)	3				該当者無し						
4			○		相談員さんとの情報共有は行っているが、幼稚園や学校等とは、十分に行う事は出来ない。						適宜必要な関係機関と連携を図っていく。	
5		○			他事業所との連携は、必要に応じて行っている。						併用事業所さんとの連携は、より一層図っていけるように努めていく。	
6			○		専門性の高い講師の外部研修を受講したりはしている。児童発達支援センターとの連携は不十分なので、必要に応じて連携は図ってきたい。						児童発達支援センターとの連携は不十分なので、必要に応じて連携は図ってきたい。	
7			○		休日の公園活動で、地域の子ども達と触れ合う機会はある。新型コロナが収まったら、秋祭りイベント等地域に開かれたイベントを行う中で、交流の機会をつくっていきたい。	4	1	4	21		引き続き、休日の公園活動や、夏祭りイベント等で、地域の子ども達と触れ合う機会を設ける中で、相互理解に繋がるよう努めていく。	
8			○		例年、夏祭り(8月)は地域の方々にも来ていただけるように周知している。(今年度は、新型コロナの影響で開催出来なかった)						新型コロナの様子を見ながら、地域の方も参加できるようなイベントを企画・実行していく。	
保護者への説明責任・連携支援		1	○			契約時に、丁寧に説明するよう意識している。	28	2			利用者負担に関しては、プリントの配布のみ	引き続き丁寧な説明を心掛ける。必要に応じて、個別にご説明させて頂く等の対応もしていく。
		2	○			随時丁寧に説明するよう意識している。	28	2				新型コロナの影響で、直接お会いしてのモニタリングが出来ていないが、説明不足とならないように、しっかりお電話でも対応させて頂く。
	3		○		ペアレントトレーニングは、不十分だと感じる。今後、家庭でのお子さんとの関わり方等の相談・助言も積極的に行っていきたい。	15	1	2	12		今後は、新型コロナの感染状況を鑑みつつ、しばらく実施出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			半年に1回のモニタリング、電話や連絡帳でのやりとりにて、共通理解をはかろうと意識はしている。学校、家庭、他事業所等とも必要に応じて連携を図っている。	28	2				半年に1回のモニタリング、日々の電話や連絡帳でのやりとりにて、共通理解をはかっている。また、必要に応じて学校や他事業所等の関係機関との連携も図っていく。		
	5	○			日々、電話や連絡帳でのやりとりにて相談は受けているが、ペアレントトレーニングは不十分だと感じている。今後職員間で研修を行いながら、相談援助のスキルも身に付けていけるようにしていく。	24	5		1	送迎の担当スタッフさんによっては、その日の子どもの様子を聞いても分からない時があります。	送迎時は、保護者様とお話出来る貴重な機会ではあるものの、ゆっくりとお話出来ない為、連絡帳やメール、お電話にて子どもの情報を詳しくお伝えしていく。		
	6			○	今年度は、保護者会を実施出来なかった。保護者の方も一緒に学べる研修会や座談会を計画していく。（令和4年3月に実施出来るよう計画中。）	3	1	8	18		今年度は、保護者会を実施出来なかった。保護者の方も一緒に学べる研修会や座談会を計画していく。同グループ内の見学会等、自社が提供できるサービスに関して知ってもらう機会を設けていく。		
	7	○			苦情に関しては、社内の仕組みに沿って対応している。	21	2			7	同じような苦情内容が繰り返される事があり、対策を本当にしてくれたのかと思う事がある。	社内の仕組みに沿って、迅速かつ丁寧な対応を心掛けていく。起きたミスに対する事業所としての今後の対応は、保護者様にも丁寧に説明する事を意識していく。	
	8	○			日々、電話や連絡帳でのやりとりにて相談は受けているが、ペアレントトレーニングは不十分だと感じている。今後職員間で研修を行いながら、相談援助のスキルも身に付けていけるようにしていく。	26	3			1		今後は、しばらく出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。	
	9	○			毎月1回日々の活動の様子を載せたLaboだよりを作成、配布している。SNS (Instagram) で、子ども達の活動の様子を投稿している。	29				1		ホームページのリニューアルに伴い、子ども達の活動の様子をよりしっかりと伝えられるようにHPやSNSの更新、Laboだよりの配布等に努めていく。	
	10	○			契約時、または1年更新で、個人情報開示に関する聞き取りを行っている。	27	1			2		個人情報の取り扱いに関しては、保護者様からの聞き取りを元に、慎重に取り扱っていく。（SNS、チラシ等）	
	非常時等の対応	1	○			職員、保護者共に、マニュアルを開示している。	24	4			2	活動時間内での感染対策は聞いていない	新型コロナ等の感染症に関しては、来所時に検温、手洗い、手指消毒を行っている。事業所での対策も、積極的に保護者様に発信していくよう努めていく。
		2	○			年に2回実施している。	23	2			5		引き続き、定期的な実施を継続し、その様子をLaboだより等で保護者様にもお伝えしていく。
	非常時等の対応（続き）	3	○			社内で虐待防止委員会を設置し、定期的な外部研修を行っている。また、年1回以上、外部研修を受講している。							引き続き外部研修、部署内研修等を行う中で、虐待防止に努めていきたい。
4		○			個別支援計画に記載している。							引き続き、個別支援計画に記載していく。	
5		○			契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っている。							引き続き、契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っていく。	
6		○			事故やヒヤリハットが起こった場合は、ヒヤリハットのフォーマットに記録し、社内で共有する事になっている。							その都度ヒヤリハットの事例を重ね、スタッフ間で対策を考え実施していく中で、安心安全に利用してもらえる事業所にしていきたい。	